

2024 年度外部評価委員会評価を受けて

神戸女学院大学

学長 中野敬一

FDセンターディレクター 川瀬雅也

このたびは、2024 年度の本学自己点検・評価活動について、的確な点検・評価およびご助言・ご提案をいただき、誠にありがとうございました。ご指摘いただきました点を真摯に受け止め、今後、本学の質の改善に活かしてまいります。

各組織へのご指摘については、本年 12 月に、各組織からの回答を自己点検・評価システム上で公開する予定です。ご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、総評におきましても、特に本学の自己点検・評価体制をより充実したものにするための工夫についてご指摘、ご助言いただきました。ここでは、この総評につきましてご回答申し上げます。

各組織の自己点検・評価活動は、精粗がありつつも、概ね PDCA サイクルが適切に機能していると評価いただきました。また、自己評価委員会や大学企画評価会議の点検・評価についても活動の深化がみられると高く評価いただきました。ありがとうございました。今後も適切な点検・評価を継続すると同時に、それを大学の質の改善に繋げていくよう努力して参ります。

一方、外部評価委員による点検・評価をより実効的なものにするために求められる工夫についてもご指摘、ご助言いただきましたので、以下、それらの点についてご回答申し上げます。

1. 大学理念にもとづく各部署間の連携については、本学としても課題として認識しており、次期中期計画がはじまる 2026 年度以降、実行に移すべく、大学将来計画委員会にて準備をしているところです。

将来計画委員会には、相互に関連する複数の部署の代表が出席していますので、会議での協議を通して相互の連携について話し合うとともに、中期計画や重点項目との関連を意識した計画を策定し、その実行につとめ、成果等を自己点検・評価活動にて公開したいと考えています。

2. クローバーゼミおよび特色プログラムについては専門の運営委員会がありますが、現在のところ、マイナープログラムおよびオープン科目については特定の運営委員会はありません。また、これらの全学横断的な教育プログラムを統括する部署もありません。したがって、現在のところ、全学横断的な教育プログラムを包括的に吟味する場はありませんが、今回のご指摘を受けて、今後学内でこうした吟味の必要性の是非および吟味するための適切な場の設定等について協議してまいりたいと思います。

3. 組織再編については大学改革委員会で検討されてきましたが、現在、その業務は大学将来計画委員会に引き継がれております。将来計画委員会では、主に大学の将来計画について検討されますが、当然将来計画は、過去の組織再編の評価活動をもとになされることとなります。したがって、組織再編の評価については、来年度以降の大学将来計画委員会の自己点検・評価活動において評価していくこととなります。
4. 現在、大学院生の研究活動に関する情報の管理は行なっておりません。今後の検討課題とさせていただきます。一方、教員の研究活動については、毎年教員活動報告書を作成しており、今年度より外部評価の資料として活用できるよう、その公開を前倒ししたところですが、今後は、全学および学科毎の研究成果の推移などをグラフ化したものを含めて提示できるように努めてまいりたいと考えております。
5. 学修成果の可視化については、2026年度からの教務システムのリプレイスに合わせて導入することを予定しております。学修成果の可視化の具体的な運用が始まりましたら、収集されたデータを分析し、経年的な推移も追跡して、学修成果の向上や各学生がいつそう学修成果を実感できる教育環境の整備に努めていきたいと考えております。また、他大学との比較や数値目標の設定の是非なども検討していきたいと思っております。

外部評価委員のみなさまには、今年度も多くの項目について点検・評価いただきますとともに、本学の活動および取り組みについて詳細にご検討いただき、問題点や工夫すべき点についてのご指摘をはじめ、諸々のご助言やご提案をいただきました。あらためて感謝申し上げます。ご指摘いただいた点について、本学全体で共有するとともに、改善にむけて全学的に取り組んでいく所存でおります。今後とも引き続き、本学に対してご助言・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。